

	第061号	2024年4月1日
		☎180-0006 東京都武蔵野市中町 2-21-15 発行責任者 近藤 和義 TEL. 0422-53-5252 FAX. 0422-52-8100

2024年度 ウォーク事業計画 (2024年4月～2025年3月)

番号	月 日	種 別	事 業 名	集合駅・場所	解散駅・場所	距 離
1	4月13日(土)	1回花シリーズ	足立区都市農業公園のチューリップ	西新井大師西駅	王子神谷駅	8km
2	4月25日(木)	59回カルチャー	あしかがフラワーパークの大藤鑑賞	新宿駅西口	新宿駅西口	2km
3	5月04日(土)	2回花シリーズ	神代植物公園のバラ鑑賞	多磨駅	深大寺	8km
4	5月18日(土)	第184回定例	皇居・江戸城の史跡めぐり	東京駅	和田倉門跡	9km
5	6月01日(土)	3回花シリーズ	小岩菖蒲園と堀切菖蒲園の菖蒲鑑賞	京成江戸川駅	堀切菖蒲園駅	10km
6	6月15日(土)	第185回定例	横浜市都筑区のアじさい緑道を歩く	仲町台駅	センター北駅	8km
7	6月29日(土)	60回カルチャー	武蔵野焼却場見学と2024年度総会	境南ふれあい広場	西久保コミセン	6km
8	7月27日(土)	61回カルチャー	警察博物館見学と納涼会	東京駅	有楽町納涼会場	2km
9	9月21日(土)	62回カルチャー	サントリービール工場見学	東府中駅	府中本町駅	5km
10	10月05日(土)	63回カルチャー	横須賀・海軍基地と遺跡めぐり	横須賀駅	三笠公園	5km
11	10月26日(土)	第186回定例	川越・小江戸の街歩き	西武本川越駅	西武本川越駅	8km
12	11月09日(土)	第187回定例	新選組の里探訪 日野から高幡不動尊	日野駅	高幡不動尊	10km
13	11月23日(土)	第188回定例	三ツ池公園から獅子ヶ谷自然の森	尻手駅	菊名駅	8km
14	12月07日(土)	4回花シリーズ	野火止用水散策と平林寺の紅葉鑑賞	清瀬駅	新座駅	8km
15	12月21日(土)	第189回定例	新宿建築100景・街歩き	新宿駅	高田馬場駅	10km
16	1月06日(月)	第190回定例	新宿山の手七福神めぐり	飯田橋駅	新宿御苑前駅	7km
17	1月18日(土)	64回カルチャー	昭和レトロ館・漫画ミュージアム見学	椎名町駅	中野駅	8km
18	2月22日(土)	5回花シリーズ	松田町の菜の花と河津桜鑑賞	小田急新松田駅	小田急新松田駅	4km
19	3月08日(土)	第191回定例	旧三河島処分場から寛永寺散策	町屋駅	上野駅	8km
20	3月29日(土)	第192回定例	国立の大学通りと根川の桜ウォーク	国立駅	立川駅	8km

注) 例会ウォークの日程・集合駅・解散駅・歩行距離は変更させていただく場合があります。

当会の例会案内 および 日本ウォーキング協会の「ウォーキングライフ」等でご確認ください。

2024年度ウォーク事業のポイント：

今年の目玉は貸切バスでの「あしかがフラワーパークの大藤鑑賞」です。

例会ウォークは、江戸城史跡めぐり、横浜市都筑区のアじさい緑道、川越・小江戸の街歩き、新選組の里探訪、川・池・森の自然探勝=三ツ池公園、新宿建築100景、3月国立・根川緑道の桜鑑賞等を計画しました。

カルチャーウォークは、あしかがフラワーパークの大藤鑑賞に加え、武蔵野焼却場見学、警察博物館見学、サントリー武蔵野ビール工場見学、横須賀軍港めぐり、昭和レトロ館&漫画ミュージアム見学を企画しました。

シリーズウォークは、『花』をテーマとし、足立区都市農業公園のチューリップ、神代植物公園のバラ、小岩&堀切菖蒲園の菖蒲、平林寺の紅葉、神奈川県松田町の菜の花と河津桜&富士山の絶景を全5回に分けて開催します。

伊能忠敬の行動と測量

理事長 近藤 和義

皆さんは伊能忠敬という方をご存知でしょうか。江戸時代に日本地図（大日本沿海輿地全図）を作製した人としてご存知の方も多いと存じます。

彼は千葉県佐原地区（現在の香取市）で名主を務めており、49歳で隠居が認められるとそこから知識を深め、なんと54歳から日本地図作成の行動を起こしました。当時の平均寿命が45から50歳ぐらいと言われていることから見ますと大変なことでと推測できます。

伊能忠敬がなぜ地図を作れたかを考えますと、天文学に精通していたこと、この作業を私費で行う財力があつた、また粘り強い性格など、しかしなんといっても物事を探求するという気持ちを持ち続けられたこととされています。

測量を少しかじった私からみますと、当時の測量機具はこれでよくできたなど感じるとんでもないものでした。

距離を測るには「間縄」「鉄鎖」「歩測（1歩69cm）」でおこないます。歩測に関しては1歩を69cmで歩けるよう何人も訓練し、測ったと言われていました。

歩こう会でも歩幅を正確に刻む方もおいでですので、これはありかなと思っています。私が入会してしばらくたったころ、久松さんから、今日の歩数×歩幅で歩行距離がわかる、と言われ改めて人間の能力に感心したことでした。

現在の測量では距離と角度を一つの機械で測れる道具がありますが、当時水平の角度を測る道具は「方位盤」でした。また縦方向角度を測るには「象限儀」が使われました。

現在の光学機械やGPSと比べると本当に大変だったと思われまふ。

そのような道具を携え北は北海道から南は九州まで、17年間で35,000km歩いたと記録されています。

日本ウォーキング協会機関紙「ウォーキングライフ」には40,000km達成者の名前が載っていて、さらにもう40,000kmを目指すという方もいます。この事も大変ですが、当時道なきところや橋もないところなど海沿いをすべて歩いて地図にしたことはとんでもないことで想像を絶します。

当会の設定ルートはそんな厳しくなく、歩きやすいところを設定しています。

少し厳しいなと思えたら伊能忠敬に思いを馳せ、日本の先人はとんでもないことをやっていたんだと思いを活動していただければと存じます。

皆様頑張りましょう。



例会案内

※詳細内容につきましては、毎月お送りしております「例会案内」をご覧ください。

第1回花シリーズウォーク

足立区都市農業公園のチューリップ鑑賞

開催日時 2024年4月13(土) 午前9時集合

集合場所 江北六丁目公園

舎人ライナー西新井大師西駅 徒歩5分

解散場所 王子神谷駅 午後1時頃

歩行距離 約8km

歩行コース 江北六丁目公園/スタート～上沼田北公園～鹿浜東公園～北鹿浜公園/WC～新柴川桜並木～都市農業公園(都市農業交流館・芝生広場・古民家・長屋門・人と自然の共生館・工房棟)/見学～河川敷花壇/チューリップ鑑賞～荒川沿い～鹿浜橋～新田三公園/昼食～足立新田高～隅田川～新田橋～豊島八～王子神谷駅/ゴール

***今回の見どころ:** 今年の花シリーズウォークは、昨年会員の皆様より好評をいただいた花シリーズを再度実施することにし、第1回花シリーズは足立区都市農業公園のチューリップ鑑賞ウォークです。

当公園は、水田、畑、古民家など失われつつ農村風景を残した公園。春には桜やチューリップ、秋にはコスモスなど四季折々の花を楽しむことができる。自然と触れ合う機会として農業体験教室や自然観察会も実施しています。

(文:元木 満生)



第59回 カルチャーウォーク

あしががフラワーパークの大藤鑑賞【バス旅行】

開催日時 2024年2月25日(木) 午前7時45分集合

集合場所 新宿駅西口 新宿センタービル南側

解散場所 新宿駅西口 午後5時頃

***今回の見どころ:** 2024年度最初のカルチャーウォークは、昨年実施いたしましたネモフィラに負けない人気を誇っております あしががフラワーパークの「大藤」見学を企画いたしました。

フラワーパークの「大藤」は栃木県の天然記念物に指定されており、樹齢は160年と推定されています。同じ栃木県より移植されたのですが、このような大木の移植は例がなく、同時に移植された「藤」を含めて奇蹟のフジと呼ばれています。藤の種類は、野田九尺藤、八重黒龍藤、白藤の3種類で、白藤のトンネルは80mの長さがあります。

園内に入り、600畳の大藤に驚き、経験したことのない80mの白藤トンネルを通過すると、これは何なのかと思わず考えてしまいそうです。



「大藤」を求めて多くの観光客が訪れます。しかしその方々も「藤」以外の花が大変多くあり、見事に咲いているのを見て驚いたり感激したりしていると係員が教えてくれました。フラワーパークはその名の通りでこの時期はバラ、チューリップ、つつじなどが咲いており、様々な花を見ることで多くの楽しみがあることと存じます。

***既に定員に達したので締切らせていただきました**

(文：近藤 和義)

第2回 花シリーズウォーク

野川公園から神代植物公園のバラ鑑賞

開催日時 2024年5月4日(土) 午前9時30分集合
 集合場所 西武多摩川線 多磨駅 東口駅前広場
 解散場所 深大寺 午後1時30分頃
 歩行距離 約8km

歩行コース 多磨駅(スタート)～人見街道～近藤勇生家跡～野川公園(自然観察園)(WC)～野川～大沢の里～野川の水車～野川～御塔坂橋～深大寺入口～神代植物公園(昼食休憩)～深大寺(ゴール)

***今回の見どころ：**神代植物公園はもともと、東京の街路樹などを育てるための苗圃でしたが、戦後神代緑地として公開されたあと、昭和36年に名称も神代植物公園と改め、都内唯一の植物公園として開園されました。面積は約49万㎡、約4,800種類、10万株の樹木が植えられています。

園内は、ばら園、つつじ園、うめ園をはじめ、植物の種類ごとに30ブロックに分けており、景色を眺めながら植物の知識を得ることができるようになっていま



す。ばら園は3つのエリアで構成されています。シメトリックに設計された沈床式庭園に植えられたバラ(春バラは409品種5,200余本、秋バラは約300品種5,000余本)の花期は年2回、今回は咲き誇る春バラ鑑賞です。また、「深大寺」は奈良時代の733年(天平5年)、満功上人が法相宗の寺院として開創、平安時代の859年天台宗へ改宗したと伝えられています。深大寺の名称は、中国僧 玄奘三蔵を守護したとされる水神「深沙大王」(じんじゃだいおう)に由来しているとのこと。

(文：小松 巧)



第184回定例ウォーク

皇居・江戸城の史跡めぐり

開催日時 2024年5月18日(土) 午前9時集合
 集合場所 東京駅 丸の内北口改札 オアゾ広場
 解散場所 和田倉門噴水公園 14時ころ
 歩行距離 約9km

歩行コース 丸の内オアゾ/スタート～大手門～大手三之門跡～百人番所～中之門跡～中雀門跡～本丸跡～展望台～富士見櫓～松の廊下跡～富士見多門～石室～天守台～大奥跡～梅林坂～塩見坂～二の丸庭園～下梅林門跡～平川門～北はね橋門～千鳥ヶ淵公園/昼食～半蔵門～桜田門～二重橋～坂下門～巽櫓～和田倉門跡(和田倉噴水公園)/ゴール

***今回の見どころ：**東京の都心に広がる緑豊かな皇居。この地はかつて江戸城(千代田城)と称され徳川将軍の居城や幕府で政治の中心として発展を遂げました。江戸城の外郭は、西は四谷から東は浅草まで、北は水道橋から南は虎ノ門までありました。

江戸城の外側は延べ、14kmに及ぶ外堀をめぐらす巨大な城郭でした。現在も、皇居周辺には当時の江戸城の様子を偲ばせる、堀や石垣、櫓が国の特別史跡に。田安門、清水門、桜田門が重要文化財に指定されています。他に、大手門や百人番所、中雀門跡、本丸跡、大奥跡、富士見櫓、松の廊下跡、天守台、二の丸庭園、平川門、北はね橋門、二重橋、坂下門など見どころの多いコースとなっています。



(文：元木 満生)

第3回花シリーズウォーク

小岩菖蒲園と堀切菖蒲園の菖蒲鑑賞

開催日時 2024年6月1日(土) 午前9時集合
 集合場所 小岩菖蒲園 京成江戸川駅より徒歩5分
 解散場所 堀切菖蒲園駅 12時30分ころ
 歩行距離 約10km

歩行コース 小岩菖蒲園/スタート・ショウブ観賞～上小岩遺跡通り～三和橋～奥戸橋(奥戸橋スポーツセンター公園にてトイレ休憩)～四つ木五丁目～本田広小路交差点～サイゼリア手前～堀切四季の道～堀切菖蒲園・ショウブ観賞(解散)～堀切菖蒲園駅/ゴール

***今回の見どころ：**江戸川河川敷に広がる小岩菖蒲園は、地元の方から寄贈された花菖蒲をもとに、江戸川区が回遊式の庭園にしたものです。約4,900平方メートルの菖蒲田には5月から6月に約50,000本の花菖蒲が咲き誇り、都会のオアシ



スとして都内名所の一つになっています。

堀切菖蒲園は6月上旬から中旬に花菖蒲が見頃となる花菖蒲園で、葛飾区の観光名所の一つとなっています。

(文：下之園 久)

第185回 定例ウォーク

横浜市都筑区のおじさい緑道を歩く

開催日時 2024年6月15日(土) 午前9時30分集合

集合場所 横浜市営地下鉄 ブルーライン仲町台駅

解散場所 横浜市営地下鉄 センター北駅

歩行距離 約8km

歩行コース 仲町台駅/スタート～せせらぎ公園 [すいれん・花菖蒲] (WC)～せきれいの道～大熊川おじさい緑道 (約600m)～茅ヶ崎公園 (昼食・WC)～正覚寺 [おじさい・花菖蒲]～茅ヶ崎城址公園 (WC)～大塚・歳勝土遺跡公園 (WC)～横浜市歴史博物館～センター北駅/ゴール

***今回の見どころ：**今回は横浜市港北ニュータウンの一角にある地域を歩きます。メインは大熊川沿いに咲き誇る約600mのおじさい鑑賞です。整備された緑道や公園、歴史公園は青葉につつまれ心地よいウォークが期待できると思います。



おじさいの他、花菖蒲・すいれんなども見頃です。

(文：下之園 久)

第60回カルチャーウォーク

武蔵野焼却場見学と2024年度通常総会

開催日時 2024年6月29日(土) 午前9時集合

集合場所 武蔵境駅 南口 境南ふれあい広場

解散場所 西久保コミュニティセンター

歩行距離 約6km

歩行コース ふれあい広場～本村公園～グリーンパーク遊歩道～武蔵野中央公園～武蔵野クリーンセンター(見学)～武蔵野市役所～武蔵野緑町パークタウン～城山通～西久保コミュニティセンター(総会会場)

***今回の見どころ：**見学箇所の武蔵野クリーンセンター(ゴミ焼却場)は最新の設備を誇る施設です。

クリーンセンターは運転するための維持管理費が大変巨額のため複数の自治体で事務組合を作り、負担の軽減を図るのですが、武蔵野市は単独で行っている数少ない焼却場です。

また設置場所は住宅街の中にあります。焼却場は快適な生活を送る上で必ず必要な施設です。しかし



都会では適当な場所はなく、近隣の方に特別に許可をいただき設置しています。この事は杉並や世田谷、渋谷等東京23区内ではよく見られます。

★通常総会(会場は西久保コミュニティセンター)

総会:11:00～予定(詳細 後日ご案内)

(文：近藤 和義)

例会ウォーク実施報告

2023年12月23日

第180回定例ウォーク

鬼平犯科帳 本所・桜屋敷コース

寒さが一段と身に染みる雲一つない最高の日本晴れ。猿江恩賜公園に37名が集合。目の前には東京スカイツリーがそびえ、旅客機とのコラボレーションが美しかった。

池波正太郎の現在も人気のある懲悪小説「鬼平犯科帳」、中村吉右衛門が2021年11月に亡くなり、2024年1月より新たに松本幸四郎が鬼平こと火付盗賊改方長官・長谷川平蔵役として再スタートすること。



コース説明・準備体操後、北に向かって歩き出す。コースは鬼平犯科帳ゆかりの地をめぐる楽しみなウォーク。

街並みや車道信号のあるコンクリートジャングルを歩くなかに、説明板が設置されていた。江戸時代当時へ想いをはせながら回ることができた。

中間地点を過ぎ、幅30～40m 長さ約1.85km 面積約63,343㎡の大横川親水公園(南北に流れているのに何故大横かという疑問=江戸城からみて横であるからとのこと)に入ると緑と川辺の遊歩道に心なごむ。心地よい汗をかいた。

東京スカイツリーのソラマチに昼前に到着、解散とした。参加者の皆さんお疲れさまでした。

(理事：芦田 敏武)

2024年1月6日(土)

第181回定例ウォーク

武蔵野七福神めぐり

2024年最初のウォーキングは、武蔵野七福神巡りでした。むさしの歩こう会の地元とあって、一般の方が6名も参加下さり、合計53名でスタートしました。途中合流者1名、最終合計54名の参加者。

長い行列で歩き始め、最初の杵築大社（商売繁盛の恵比寿神・学問財運の弁天様）では、全員がお参りするのにかかり時間がかかりました。井の頭公園の弁天様の場所が三鷹市ということで、今年から武蔵野市にある杵築大社の弁天様が武蔵野七福神に加わり、お参りしました。ここは交通量の多い通り沿いにある為、脇の駐車場に一度集合し、一列で路肩を進んでの参拝でした。



次に住宅地を抜け、玉川上水にかかるギンナン橋を渡り、グリーンパーク遊歩道を歩きました。晴天の空がきれいで、清々しい空気も気持ちよく、人通りも思ったより少なく、皆さん楽しそうにおしゃべりしながら歩いていました。

何しろ長い行列なので、信号は一度では渡りきれず、二回、三回と待って歩いたわけで、もっと早く歩いて欲しいという声も聞こえてきましたが、慎重に、はぐれる方がでないように進みました。

延命寺（財宝福德の毘沙門天・諸病平癒の寿老人）では甘酒がふるまわれ、地元産の菊芋などの野菜が売られていました。出発時には芦田さんが大きな声で号令をかけて下さり、延命寺を後にしましたが、中央公園でトイレ休憩をしている時に、延命寺にまだ残っている方から連絡が入り、芦田さんが急いで自転車で迎えに行き、合流できました。人数が多くて、一体何が起きているのか全員が把握するのは困難でしたが、長いトイレ休憩に文句を言う方もなく、全員揃って次の目的地に向かうことができました。意味なくお待たせすることはないので、不思議に思ったら何でも担当役員に聞いてくださいね。それにしても芦田さんありがとうございました。

中央公園から先は、地元詳しい与座さんが先導して下さり、わかりにくい道もスイスイと進みました。陸上競技場の横から成蹊学園の間の道を通り、大法寺（健康長寿の福祿寿）、安養寺（慈悲和合の布袋尊）と進み、武蔵野八幡宮（事業繁栄の布袋尊）で解散しました。

八幡宮には屋台も出ていて、とても賑わっていました。今回、出発地点からお待たせすることが多く、解散時間が遅くなるかと心配しましたが、皆様のご協力のお陰でケガをする方もなく、ほぼ予定時間通りの解散でホッとしました。皆様有難うございました。

（理事：橋本彩子）

2024年1月20日（土）

第182回定例ウォーク

東京港野鳥公園と京浜運河緑道公園を歩く

ウォーキング実施当日は、天気予報で「午後から雨」の予報がでていたため、「ゴールはモノレール大井競馬場前、昼食時間はなし」と予定が変更された。

曇り空の寒い朝で雨に見舞われるかも知れなかつ

たが、29名もの仲間が集まった。

京浜急行平和島駅から5分弱の平和の森公園で受付を済ませ、いざ野鳥公園に向けてスタート。

コースは概ね環状7号線を左に見ながら進む歩道で、環七の車の通りは激しいものの、歩道とは明確に区分されているので「危ないなあ」と感じることは少なかった。

しかし、平和島一带は、〇〇倉庫・△△運輸等のかくて窓のないビルが、まさに林立しておりコンクリートジャングルの間を歩いている感じがする地域であり、1人で歩いたら怖さを感じるだろうと思う。それらのビル群の中でもひととき大きな「TRC」というビルで休憩をとった。「TRC=東京流通センター」であり、展示場も有し中には郵便局もある等から近隣のビル群とは異なる機能を有していると思った。尚、入口はモノレールの「東京流通センター駅」前だった。東京流通センター駅前から「大和大橋」という京浜運河に架かっている橋を通り、約15分で目的地「東京港野鳥公園」に無事着いた。

この頃から雨がばらついてきたが、まだ傘をさす人は少ない。

「東京港野鳥公園」は、埋め立てられた土地に自然にできた池や草原に野鳥が集まるようになったことから、住民の自然を守る運動もあり、作られた公園とのことであった。

公園は、管理事務所を中心に大きく左右のエリアに別れている。1つは、冷暖房完備で快適に野鳥観察ができ、ボランティアによるガイドも受けられる「ネイチャーセンター」等があるエリア。

もう1つは田んぼや畑、小川や雑木林がある「自然生態園」等があるエリア。双方のエリア合わせて毎年120種類前後の野鳥が観察されているそう

だ。まさに野鳥のパラダイスと言ってよい。このような施設・場所が都内にあるとは知らなかった。



野鳥公園の中では、ほとんどの仲間が「ネイチャーセンター」でボランティアの方による「公園の歴史」や「訪れる野鳥の種類」等の解説に耳を傾けていた。中でも淡水と海水が混じった「潮入りの池」には「エイ」や「ウナギ」も住んでいると解説してくれたのがおもしろかった。

「エイ」が泳いでいる姿も見ることができ、仲間は「どこ！どこ！」と年甲斐もなく騒いでいた。

約45分の野鳥公園観察後は、林立するビル群とモノレールを遠くに見ながら運河沿いのウォーキングとなった。

「大和大橋」手前を右に進み「京浜運河緑道公園（本来ここで昼食休憩の予定だった）」に入り、さらに、東海運動公園・大井ふ頭中央海浜公園等の公園の緑を右側に、左側に運河の水の流れを見ながらの自然をいっぱい感じられるコースだった。ほとんど坂

もない。

途中洗い場等が完備されたバーベキューが楽しめるスペースもあった。利用者も多いだろうと思う。

京浜運河に架かる「勝島橋」で運河を渡り、朝、急遽設定したゴールの「モノレール大井競馬場前」駅に、一人の脱落者や異常発生者もなく無事到着。解散。ちょうど12時過ぎ頃だった。

雨が心配されたが、結果として雨はほとんど気にならず、都会の中で新たに発見した様々な野鳥・運河の水・公園の緑で自然をいっぱい感じられるウォーキングだった。

夏のウォーキングも楽しいと思う。

(会員：佐藤 修悦)

2024年3月16日(土)

第58回カルチャーウォーク

左近川散策と地下鉄博物館見学

2か月ぶりのカルチャーウォークは、江戸川区葛西地域を流れる水路、左近川周辺の風光明媚な9箇所の公園散策と地下鉄博物館の見学でした。

暖かく穏やかな日だったので、出席者は38名(会員36名一般2名)。

西葛西駅南口をスタートし、虹の広場に向かい、この広場から公園散策が始まりました。どの公園も驚くほど手入れが行き届き、モニュメントがあちこちに設置され、この公園に託した思いを伺い知ることができて、とっても温かい気持ちになりました。

新長島川親水公園を進むと新左近川親水公園に到着。カッターボートの練習場では若者の姿が多くみられ、少し進むと静かな水面に何羽もの水鳥が泳ぎ、何とものどかな景色でした。

ここで少し休憩後、海岸水門橋上から新左近川全体を眺めて、一旦新左近川とお別れしました。次に、堀江第二公園、第三公園、第四公園と進みレクリエーション公園のフラワーガーデンに着きました。ここには3種類の噴水があり、両サイドの花壇の淵が丁度腰掛けられる高さだったので、皆、楽に腰かけ、球体から出る、霧のように細かい噴水を眺めて昼食をとりました。

深大寺植物公園のバラ園によく似た、この公園の形式は、整形式沈床庭園(サンクンガーデン)と呼ばれ、中央に噴水を配置し、庭園空間の軸線に対して、左右対称に図案化された庭園様式で、庭園の中央部が低くなることで、庭園を広範囲に見渡すことができ、また、斜面にも草花を植栽できることで、景観に立体感や開放感が生まれるという効果があるそうです。



次に富士公園、満開を少し過ぎた河津桜の咲くなぎさ公園へと進み、「魔法の文学館」のある小高い丘から対岸の千葉県を眺め、左近川遊歩道を散策しながら、葛西駅併設の地下鉄博物館へと向かいました。

ここでは、普段目にする事のない数々の地下鉄が同時に地下の深さの違う線路を行き交うジオラマがとっても興味深かったです。今回は、景色も素晴らしく大変歩きやすい道ばかりだったので予定より早く葛西駅に到着しました。ご協力有難うございました。

(理事：橋本彩子)

ホームページ情報

[1]2024年度年間ウォーク事業計画を4月初旬に掲載します。

[2]5月度例会案内を3月末掲載いたしました。

○5月04日(土)第2回花シリーズウォーク
『神代植物公園のバラ鑑賞』

○5月18日(土)第184回定例ウォーク
『江戸城の史跡巡り』

[3]会報第61号を4月初旬に掲載します。

[4]ギャラリーを4月初旬に掲載します。

※例会ウォークの変更・中止等につきましては、インフォメーション欄に逐次掲載してまいります

会員ニュース

2024年3月26日現在、入会された新たな仲間をご紹介します。(敬称略)

府中市 336 川窪 健一

国分寺市 337 大塚 京子

東村山市 338 八木 幸子

杉並区 339 辻 陽子

能登半島地震 義援金寄付

令和6年能登半島地震で被災された皆さま ならび
ご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

1月22日NPO法人むさしの歩こう会として義援金

15,851円を被災地にお届けいたしました。

ご協力いただきました皆様ありがとうございました。